

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No.11

調査者	阿部 隆宏、齊藤 正和、加藤 倫卓
情報ソースの刊行日	2020年3月27日
情報ソースの調査日	2020年4月20日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年4月26日
日本語タイトル	COVID-19 患者におけるトロポニン T の高値と予後との関連について
情報ソース	Cardiovascular Implications of Fatal Outcomes of Patients With Coronavirus Disease 2019 (COVID-19) JAMA Cardiol
情報のカテゴリー	心疾患全般
発信地域	アジア(中国)
DOI	10.1001/jamacardio.2020.1017
URL	https://jamanetwork.com/journals/jamacardiology/fullarticle/2763845
要約	<ul style="list-style-type: none"> ・ 武漢市第七病院に入院した患者を対象とする後ろ向きケースシリーズ研究。 ・ 心血管疾患(CVD)の既往を有する患者は、トロポニン T(TnT)の上昇を示す割合が高く、入院中に合併症を発症するリスクが高い。 ・ 心筋障害が示唆される TnT の上昇を呈する患者では、TnT が正常な患者と比較して死亡率が有意に高値。 ・ 入院中に TnT の低下(改善)を認めた患者は生存退院率が高いが、TnT の上昇(悪化)を示した患者は死亡率が高値。 ・ 心筋障害は COVID-19 による死亡と関連していることが示唆。
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか？	<ul style="list-style-type: none"> ・ CVD の既往を有していても、入院時に心筋障害がない(TnT の上昇がない)患者は、予後は比較的良好。 ・ COVID-19 患者に対して理学療法を実施する際には、心筋障害リスクならびに心筋障害を示唆する所見(TnT の推移)を把握した上で心臓リハビリテーションを実施すべき。